

●2026年度友の会会員を募集します

美術館友の会で心豊かな一年を！

中山道広重美術館では友の会会員を募集しています。美術館をもっと楽しんでいただくための各種特典が満載。美術と共に心豊かな暮らしを楽しんでみませんか。

●会員の種別と特典

〔一般会員〕

- ① 展覧会（企画展および特別企画展）の通年無料観覧
- ② 同伴者2名まで割引観覧
- ③ ミュージアムショップの5%割引（一部除外商品あり）
- ④ 展覧会広報物や会員限定ニュースレターの送付
- ⑤ 友の会イベント（年1回程度）へご招待
- ⑥ 展覧会関連イベントおよび次年度連続講座の先行予約受付
- ⑦ 招待券進呈（10枚）

〔賛助会員〕

一般会員の特典に加えて、

- ⑧ 同伴者2名まで観覧無料
- ⑨ 当年に図録を発行した場合、1冊進呈

●年会費

会員種別	区分	年会費
〈一般会員〉	一般	3,000円
	学生	2,000円
〈賛助会員〉	個人・法人・団体（一口）	8,000円

●お申し込み方法

美術館に備え付けの申込用紙に記入後、美術館受付で会費を添えてお申し込みください（学生の方は学生証をご提示ください）。お電話や当館ホームページのお問い合わせフォームからの仮申し込みも受け付けます。

●その他

会員資格は毎年4月1日から翌年の3月31日までの1年間です。

- ※中途脱会される場合、会費の払い戻しはありません。
- ※ご入館の際は必ず受付に会員証をご提示ください。
- ※連続講座受講生は、受講料のお支払いにより自動的に友の会一般会員となります。別途入会手続きは必要ありません。

Museum Shop News ミュージアムショップから 美しい和紙の雑貨を入荷

ミュージアムショップでは、和紙を使った雑貨を展開する WACCA から、浮世絵をモチーフにした商品を入荷しました。「ミニチュアひとしめ」には、歌川広重の「富士三十六景」がデザインされています。その他にも和紙独特の風合いが美しい雑貨を入荷していますので、ぜひ手に取ってご覧ください。

右上：ミニチュアひとしめ 甲斐 / 富士山 1,431円 右下：植物写生絵図帖 A5 シート 3枚組 1,100円 ※価格はすべて税込



中山道広重美術館

〒509-7201
岐阜県恵那市大井町 176-1
TEL(0573)20-0522
FAX(0573)25-0322
https://hiroshige-ena.jp
* JR 中央線恵那駅から直進徒歩約5分
* 中央自動車道恵那インターから約5分
https://hiroshige-ena.jp

美術館ホームページ



hiroshige.ena

ウェブミュージアムショップ



hiroshige.ena.museum



#nakasendohiroshigemuseumofart

●美術館ボランティアを募集しています

美術館ボランティアを始めてみませんか。

中山道広重美術館では、年間を通じてさまざまな形で館の活動にご協力いただけるボランティアスタッフを随時募集しています。活動をしていただくと、展示解説の事前学習、ボランティア研修会などに参加する機会ができ、仲間の輪が広がります。

●活動内容

- ・浮世絵ナビルームの案内、体験コーナーの補助や説明
 - ・来館者への館内説明、展示解説、広報物の発送作業
 - ・展覧会会場設営の補助、展示室での監視
- ※交通費・昼食費などの金銭的な報酬はありません。

●活動条件

- ・おおむね週1日以上活動できる方
 - ・活動を始める前にボランティア養成講座を受講できる方。
- ※養成講座は随時開講します。詳しくはお問い合わせください。
▲その他、館周辺の美化活動、生け花など、さまざまな形で活動されている方もいらっしゃいます。

●お申し込み方法

ボランティア活動に興味をお持ちの方は直接ご来館いただくか、お電話または当館ホームページのお問い合わせフォームからお気軽にお問い合わせください。

●第22回広重賞恵那市子ども版画コンクール 受賞者決定 広重賞(大賞)に「記憶の片隅に」

第22回広重賞恵那市子ども版画コンクールには市内33のこども園・保育園・小中学校から2,355点の応募があり、このうち172点が入賞・入選しました。今回から未就学児、小学生低学年、高学年、中学生の4つの部門を設け、それぞれの部門で広重賞が選ばれました。中でも最高賞となる広重賞大賞には「記憶の片隅に」(中学3年)が、その他の広重賞には「ふみきりがかんかんかん! っってなっているよ」(こども園年中)、「とべたー」(小学3年)、「ホワイトタイガー」(小学5年)が選ばれました。受賞者の皆さま、おめでとうございました。作品展は、当館展示室2(2F)で2.17(火)から3.1(日)まで開催されました。



▲中学校部門広重賞(大賞) 「記憶の片隅に」(中学3年)



▲小学校高学年部門広重賞 「ホワイトタイガー」(小学5年)



▲未就学児部門広重賞 「ふみきりがかんかんかん! っってなっているよ」(こども園年中)



▲小学校低学年部門広重賞 「とべたー」(小学3年)

Spring Special Exhibition
One Hundred Famous Views of Edo by Utagawa Hiroshige
#UkiyoePhotogenicTechnique
Period1: 2 April - 10 May Period2: 14 May - 14 June

最晩年の傑作、全点公開。



歌川広重 名所江戸百景

4.2(木) - 6.14(日)
前期 4.2(木) - 5.10(日)
後期 5.14(木) - 6.14(日)
4.28(火) - 5.6(水)は休まず開館
※前後期全点展示替之

中山道広重美術館
Nakasendo Hiroshige Museum of Art

歌川広重 2026 春季特別企画展

名所江戸百景

4.2(木) - 6.14(日) [前期] 4.2(木) - 5.10(日)
[後期] 5.14(木) - 6.14(日)

■4.28(火) - 5.6(水) は休まず開館 ※前後期全点展示替え

観覧料 一般820円(20名以上の団体は660円)

▲18歳以下無料、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

開館時間 9:30 ~ 17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日(ただし5.4は除く)、5.7(木)、展示替え期間(5.11(月) ~ 13(水))

主催 恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館

【関連イベント】

■学芸員による作品ガイド

日時: 前期 4.5(日)、後期 5.17(日)
各日午前10時30分 ~ (40分程度)

場所: 展示室1、2(1、2F)

■美術館ボランティア幽遊会による概要説明

日時: 随時(要事前予約)

歌川広重が最晩年に手掛けた江戸名所絵シリーズ「名所江戸百景」は、タイトルに「百景」とあるものの、好評を博し118点まで制作が続いた大ヒット商品です。

広重の没後も梅素亭玄魚によって目録1点、弟子の二代広重(重宣)によって追加作品1点が制作され、合計120点となりました。

取り上げられた名所そのものの魅力もさることながら、現代でも人気の高いインパクトのある構図には、「写真映え」「SNS映え」ならぬ「浮世絵映え」のテクニックが駆使されています。

本展では、当館所蔵の「名所江戸百景」を9年ぶりに全点公開し、現代のスマートフォンのような縦長の画面における広重の創意工夫に迫ります。

見どころ 1 広重最晩年の傑作「名所江戸百景」を9年ぶりに全点公開

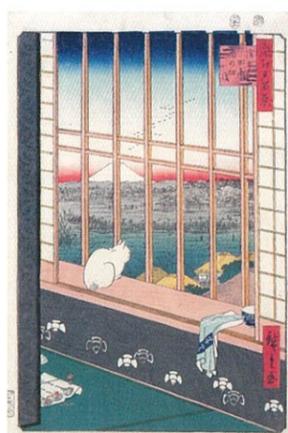
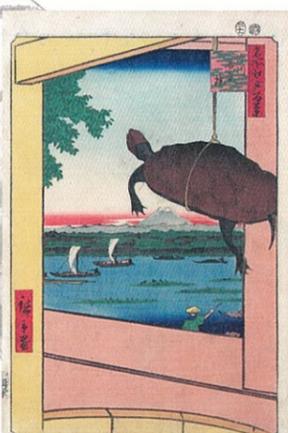
江戸時代を代表する浮世絵師、歌川広重。約40年の画業における総作画点数は、8,000点を優に超えられています。その中でも傑作と名高いシリーズの一つが、江戸各地の名所を活写した「名所江戸百景」です。本展では、2017年以来となる9年ぶりに「名所江戸百景」計120点を前後期に分けて公開。広重が亡くなる直前まで挑み続けた、画業の集大成をご堪能ください。

見どころ 2 名作だらけの「名所江戸百景」を出版年月順に堪能

版元・魚屋栄吉の企画で安政3年(1856)2月より刊行をスタートした「名所江戸百景」は、好評のあまり100点に達してからも制作が続きました。さらに、安政5年(1858)9月に広重が亡くなった後、署名「広重画」を有する作品3点、梅素亭玄魚による目録1点、弟子の二代広重(重宣)による追加作品1点が出版され、合計120点となりました。長期にわたる本シリーズの成立過程を理解する一助となるよう、本展では出版年月順に陳列します。

見どころ 3 最晩年の広重による「浮世絵映え」のテクニックに迫る

「名所江戸百景」の刊行当時、広重は既に名所絵(浮世絵風景画)の第一人者として大成していました。広重の署名がある118点では、俯瞰視(高所から見下ろしたような視点)、水平視(透視図法に基づく低い視点)などさまざまな視点を駆使しつつ、極端に拡大したモチーフを画面の近景に配する「近像型構図」など斬新でインパクトのある画面構成も取り入れています。また、広範囲からピックアップされた「名所」は、由緒ある旧跡から流行りの新名所まで多岐にわたり、享受者を飽きさせない工夫が凝らされています。本展では、同地を描いた他の広重作品と比較をしながら、時代や国を越え多くの芸術家に影響を与えた、広重の「浮世絵映え」テクニックに迫ります。



①歌川広重「名所江戸百景 深川洲崎十万坪」[前期出品] / ②同「名所江戸百景 大はしあたけの夕立」[後期出品] / ③同「名所江戸百景 龜戸梅屋舗」[前期出品] / ④同「名所江戸百景 深川万年橋」[後期出品]
⑤同「名所江戸百景 浅草金龍山」[後期出品] / ⑥同「名所江戸百景 するかてふ」[前期出品] / ⑦同「名所江戸百景 水道橋駿河台」[前期出品] / ⑧同「名所江戸百景 浅草田圃西の町詣」[後期出品]
⑨同「新撰江戸名所 隅田川堤白雨之図」[前期出品] / ⑩同「名所江戸百景 隅田川水神の森真崎」[前期出品] / ⑪同「名所江戸百景 日本橋江戸ばし」[後期出品] / ⑫同「不二三十六景 東都江戸橋日本橋」[後期出品]
すべて中山道広重美術館蔵

2026-27 募集

「浮世絵インパクト—江戸から現代へ—」

●2026年度連続講座受講生募集

江戸時代に誕生した浮世絵版画は明治末期に衰退した一方で、海を渡りジャポニスムの火付け役となりました。また、高度な木版技術は大正・昭和の新版画へと発展し、現代にも継承されています。本連続講座では、「広重」の系譜に注目しながら、江戸から現代における浮世絵の受容・継承・発展の変遷をたどります。

講座日程・内容

第1回 4月18日(土)

歌川豊広から初代広重へ—花鳥画と風景画を中心に—
赤木 美智(太田記念美術館上席学芸員)

第2回 5月23日(土)

小林清親—明治の「広重」—
村瀬 可奈(東京国立博物館研究員)

第3回 6月27日(土)

「広重」を継ぐもの—二代・三代広重—
神谷 蘭(京都芸術大学通信教育部非常勤講師)

第4回 9月12日(土)

川瀬巴水が描いた旅—広重との風景くらべ—
小山 周子(東京都江戸東京博物館学芸員)

第5回 10月17日(土)

ジャポニスム 世界を魅了した北斎と広重
田辺 昌子(元千葉市美術館副館長・国際浮世絵学会常任理事)

第6回 11月21日(土)

印刷のルーツ木版画、明治創業の版元の仕事
山田 博隆(美術書出版株式会社芸仲堂代表取締役社長)

※肩書・略歴等は2026年1月時点のものです。
日程・内容等を変更する場合は、当館HPにてお知らせいたします。

時間: 各回 午後1時30分 ~ 3時30分(予定)

受講料: 4,000円(全6回)

場所: 中山道広重美術館 3階講座室

▲講座生は中山道広重美術館友の会一般会員の特典が受けられます。

▲単独受講の当日席(若干数)は1回500円(観覧料別)。

事前予約不可、先着順。

【お申し込み方法】

美術館受付に備え付けの申込書に必要事項をご記入の上、受講料を添えて直接ご提出ください。お電話やお問い合わせフォームからの仮申し込みも受け付けます。なお、定員(50名)になり次第締め切ります。

受付開始: 2026年3月7日(土)から

(開館日の午前9時30分 ~ 午後4時30分)

